

欧州・ドイツ特許戦略ナビゲーター： EPO、国内ルート、 そして UPC時代の最適解

日本企業の知的財産ポートフォリオを
最大化する「ハイブリッド戦略」の提言

2025年版・戦略ガイド | 対象：経営層・知財責任者



2023年の地殻変動：なぜ今、欧州特許戦略の再構築が必要なのか

欧州単一特許（UP）と欧州統一特許裁判所（UPC）の導入により、従来の「EPO一辺倒」または「各国バラバラ」の二項対立は終了しました。現在は、広域保護とリスク分散を両立する「ハイブリッド戦略」が求められています。



1. 複雑化する選択肢

EPOルート、ドイツ国内直接出願、ユニタリ特許（UP）の三つ巴。



2. ドイツの影響力増大

UPC判事の約35%がドイツ人。欧州訴訟の「ドイツ化」が進行中。



3. コスト構造の変化

更新国数「4か国」がユニタリ特許の損益分岐点。

Pro-Tip: 制度変更はリスクですが、ドイツの「実用新案」や「審査請求遅延」を組み合わせることで、競合に対する強力な武器にもなり得ます。

戦略的分岐点：欧州特許庁（EPO）ルート vs ドイツ国内ルート

項目	EPOルート（広域カバー）	ドイツ国内ルート（精密打撃）
保護範囲	欧州特許条約加盟38か国以上	ドイツ国内のみ
言語	英・独・仏（出願は英語可）	ドイツ語必須（正確な翻訳がカギ）
手続	調査と審査の2段階構成	調査と審査を一括請求可能
戦略的役割	「面」での市場制圧	「点」での迅速な権利化とバックアップ



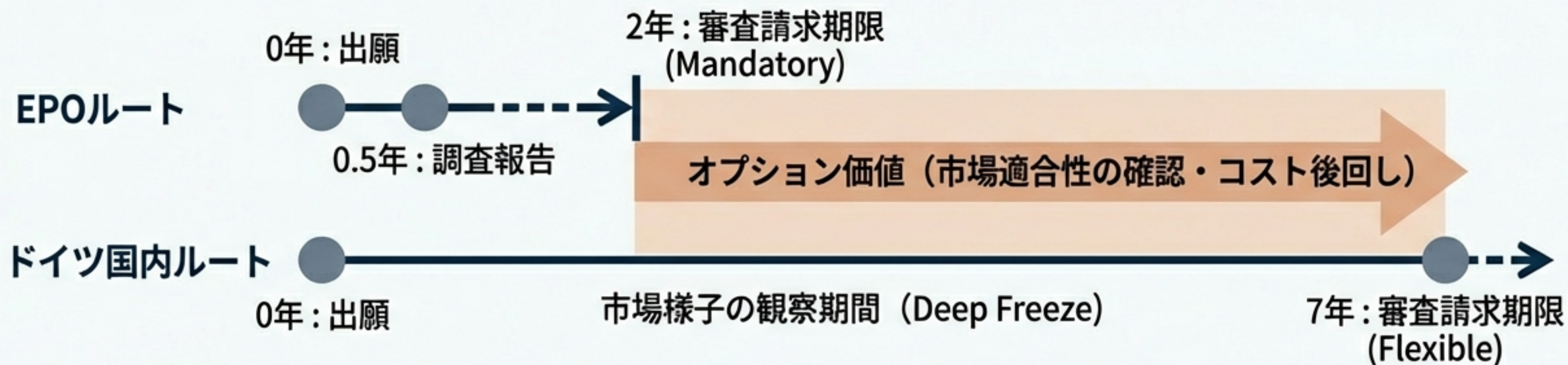
Blanket Coverage



Precision Strike

Pro-Tip: ドイツ国内出願は、EPO出願の「保険」として機能します。特に重要特許では、両ルートの併用が最強の防衛策です。

時間を味方につける：「審査請求」のタイミングが生む戦略的価値

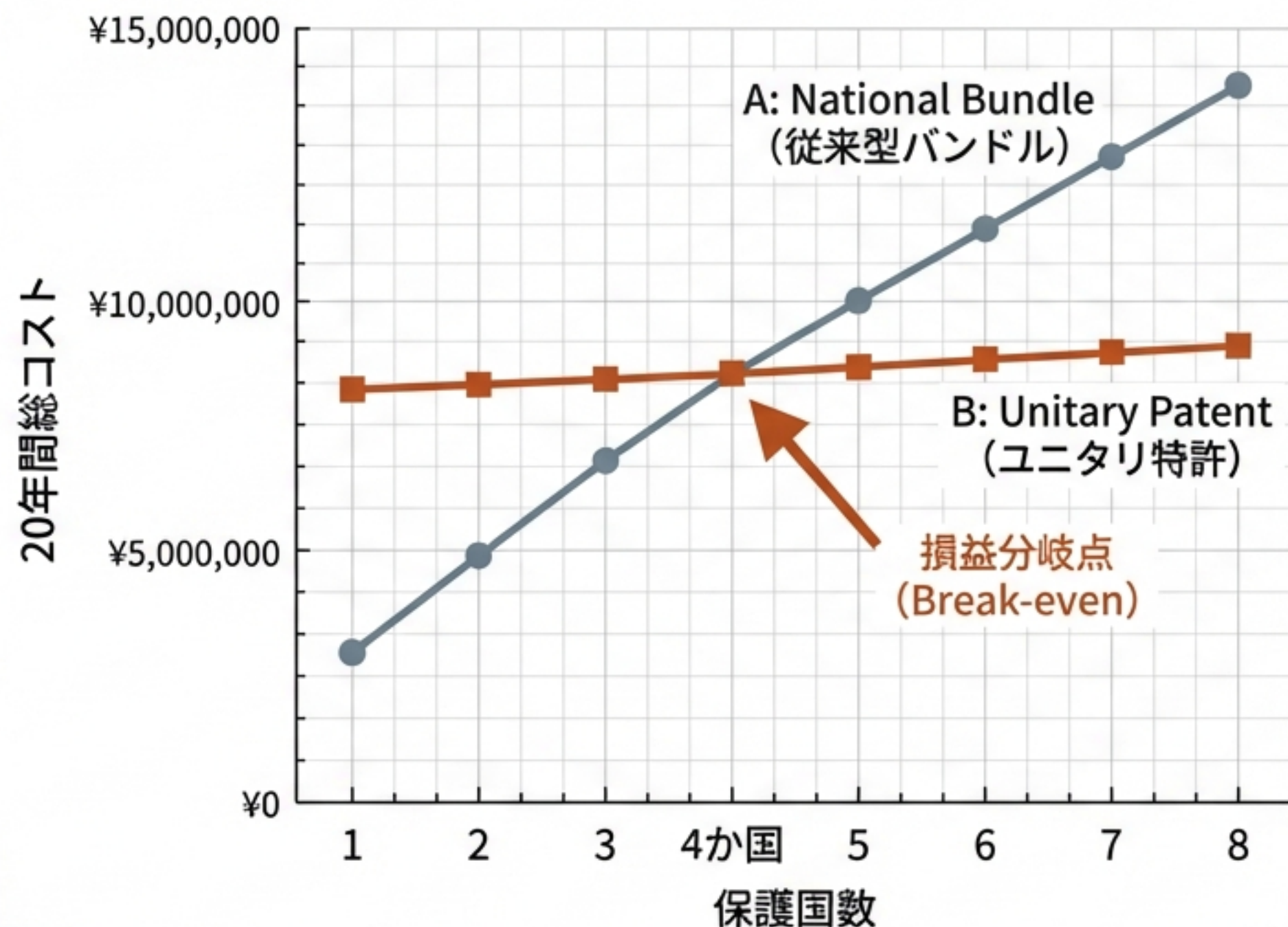


市場適合性 (Market Fit) :
7年間の猶予期間中に、製品が市場で成功するか、競合がどのような技術を採用するかを見極める。

コスト後回し:
無駄な審査費用を払わず、「塩漬け」にしておくことで予算を最適化。

Pro-Tip: 「ドイツ出願の塩漬け」は無料のオプション権です。競合の動きを見てから、クレームを最適化して審査請求することが可能です。

コストの方程式：ユニタリ特許（UP）が有利になる「分岐点」



Scenario A: <3 Countries (例: DE, FR, UK)

従来型バンドルまたは各国直接出願が有利。特に英国はUP対象外のため別途コストが必要。

Scenario B: 4+ Countries (例: DE, FR, IT, NL...)

ユニタリ特許（UP）が更新年金の大幅な節約になる。

ユニタリ特許（UP）の革命：一括管理の利便性と「集中攻撃」のリスク

メリット：シンプルな管理

- ・ 手続一本化
- ・ 更新料はEPOへ一括払い
- ・ 17か国以上をカバー

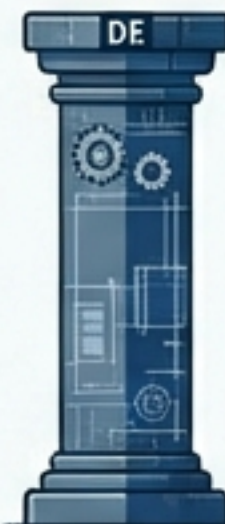
Unitary Patent
(17+ Countries)

Central Attack
(Revocation)

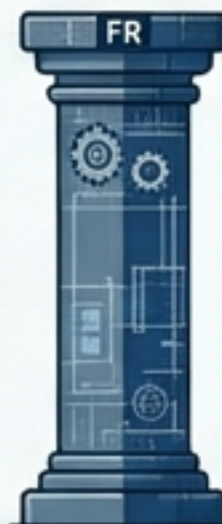
リスク：集中攻撃（Central Attack）

- ・ 全滅リスク：一つでも無効理由があれば、全指定国で同時に権利を喪失。
- ・ 柔軟性の欠如：国ごとの「切り捨て（年金節約）」が不可能 (All or Nothing)。

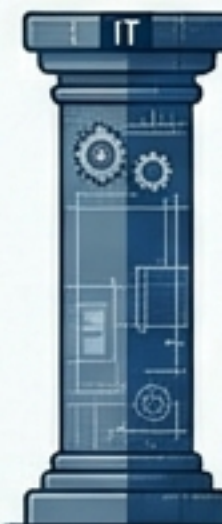
National
Patents



National
Patents



National
Patents



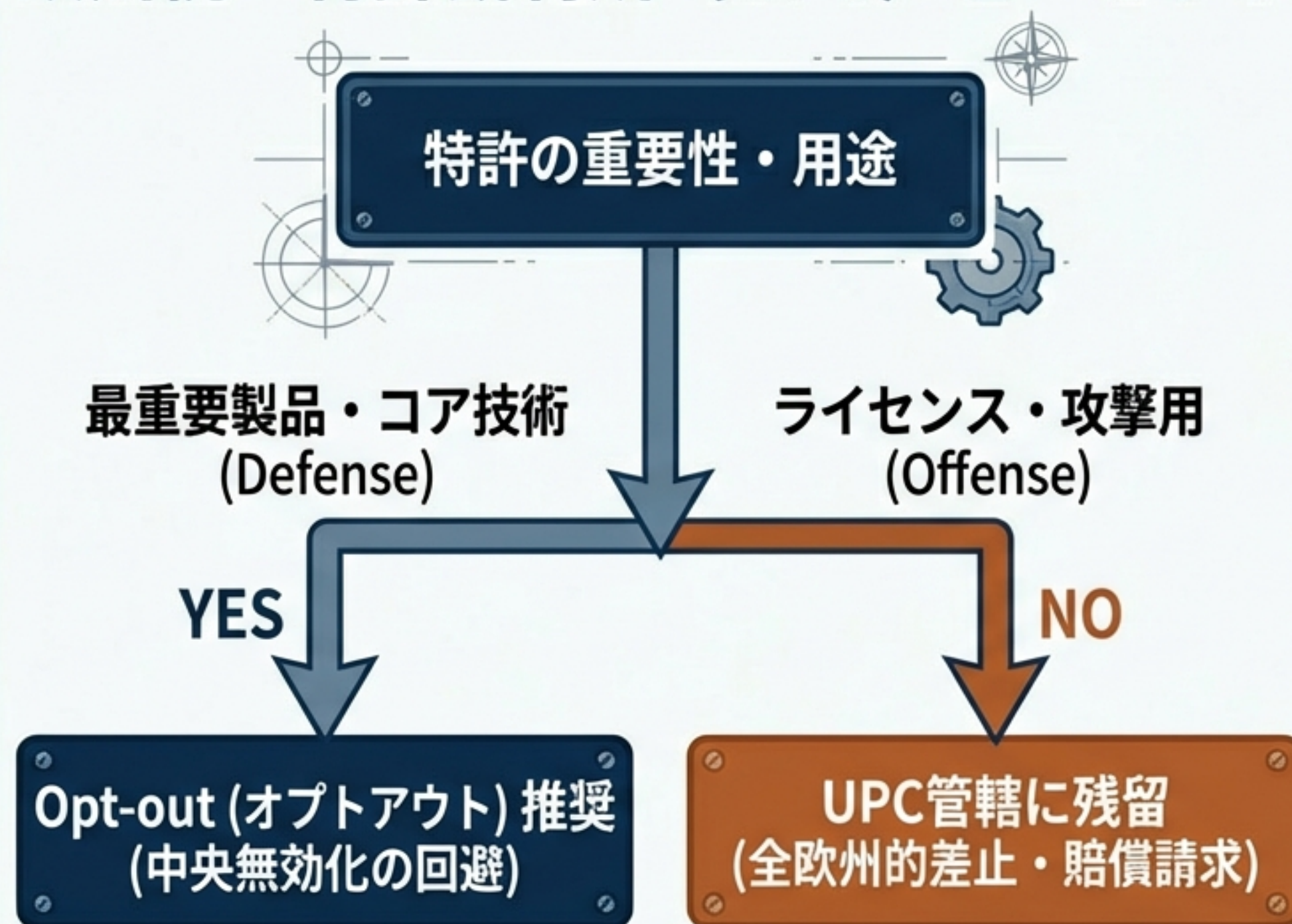
National
Patents



Central Attack
(Revocation)

Pro-Tip: 絶対に失いたくない「虎の子」の技術（ブロックバスター医薬など）は、UPを避けて各国特許にするのがセオリーです。

欧州統一特許裁判所（UPC）と「オプトアウト」の決断



市場トレンド



サンライズ期間の動き: 開始1ヶ月で約53万件がオプトアウト。日独企業は慎重姿勢。
現在の傾向: 付与特許の約43%がオプトアウトを選択。

ドイツの優位性



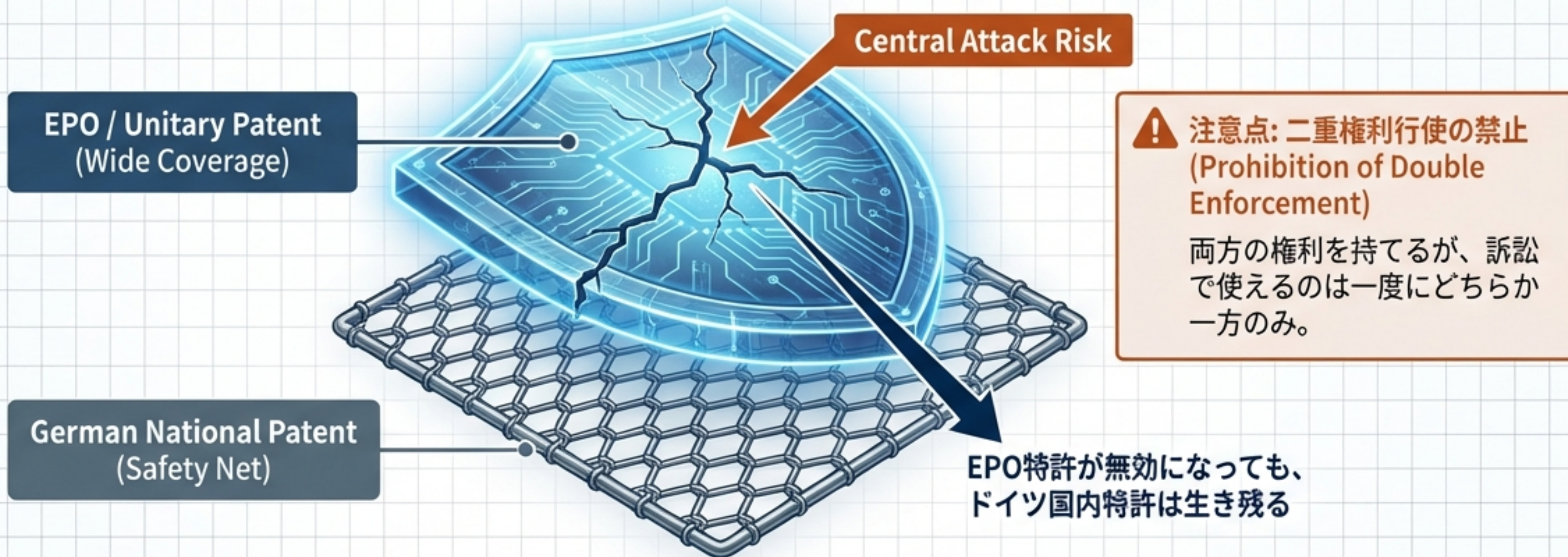
UPC侵害訴訟の75%がミュンヘン、デュッセルドルフ等で審理。
判事の35%がドイツ人。

Pro-Tip: オプトアウトは「後から撤回（UPCに戻る）」が可能です。一度UPCで訴訟が始まるとと抜けられません。迷ったらまずはオプトアウト推奨です。

鉄壁の守り：「二重保護（Double Protection）」の解禁とその活用



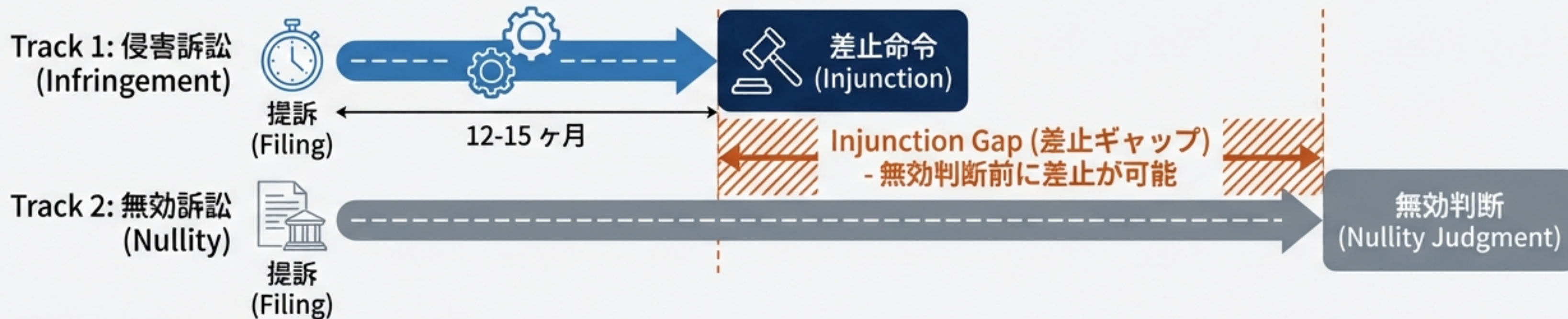
2023年6月の法改正により、同一発明について「欧州特許（EPO）」と「ドイツ国内特許」の併存が可能になりました。



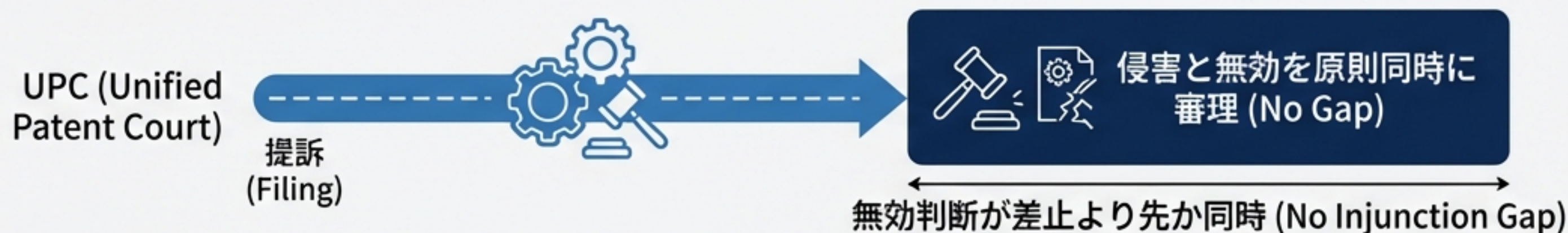
Pro-Tip: 追加コストはかかりますが、主力製品については「EPOで広さを、ドイツ国内特許で確実さを」確保する二段構えが可能です。

訴訟ダイナミクス：ドイツ特有の「差止ギャップ」とバイフケーション

ドイツ (Bifurcation) - 二元システム

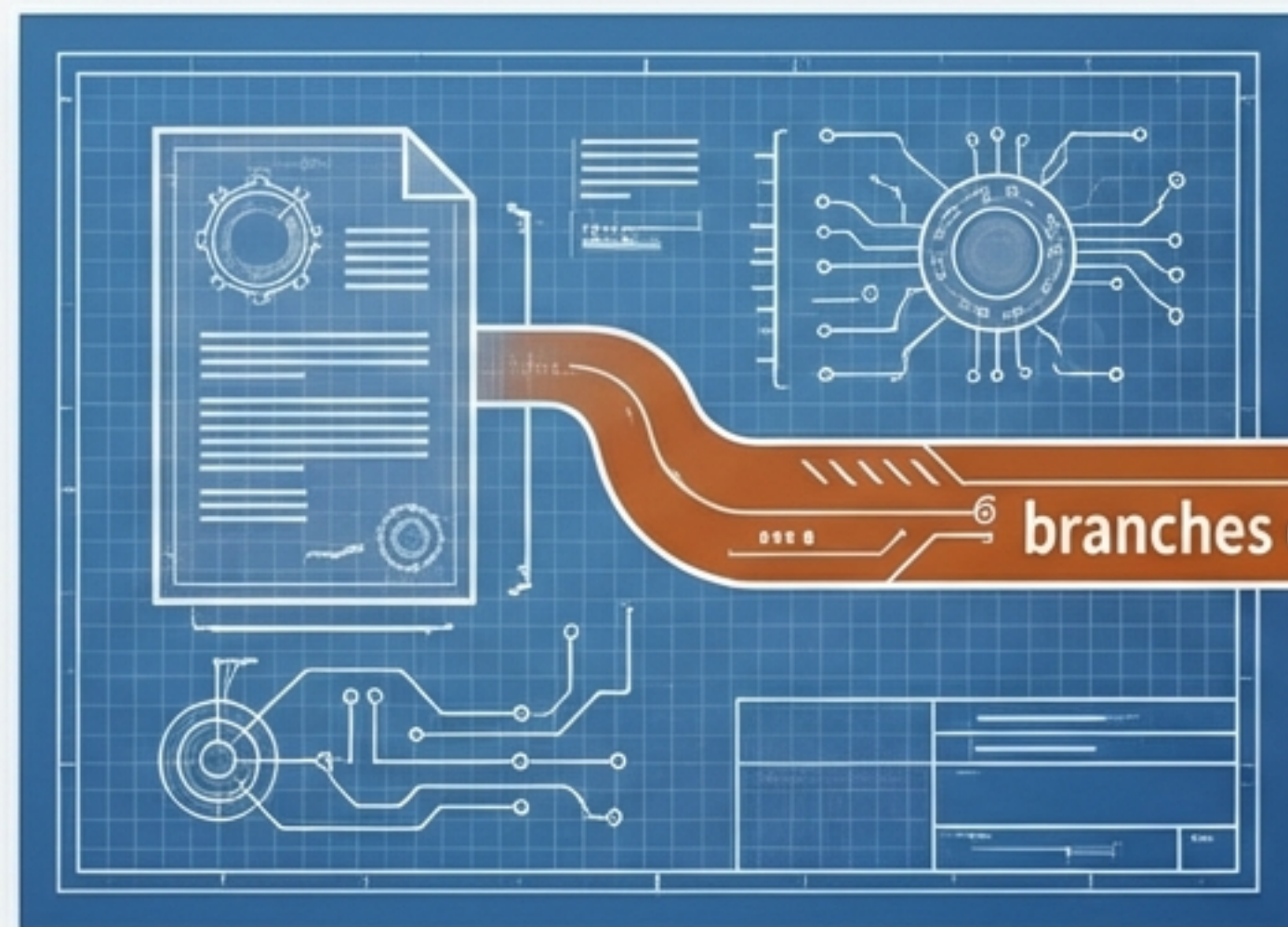


UPC (Unified Patent Court) - 統合システム



Pro-Tip: 早期に相手を市場から排除したいなら、UPCよりもドイツ地裁での提訴が依然として有効な選択肢です。

隠れた名刀：ドイツ実用新案（Utility Model）の即効性



Pending Patent Application
(Slow)



Utility Model
(Fast)

Use Case Scenario: 緊急対応

課題: EPO特許の審査中に、競合による模倣品が出現。

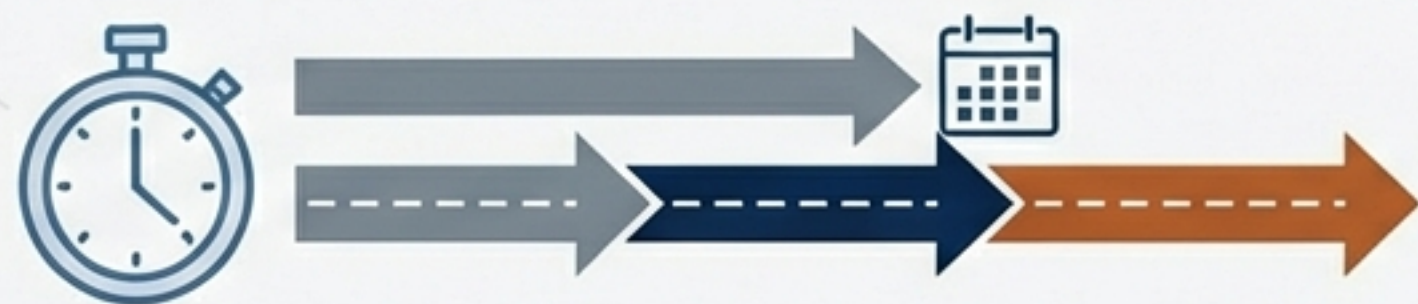
解決策: 係属中の特許から実用新案を分岐（Branch-off）。数ヶ月で登録し、即座に差止請求を行う。

⊗ **Pro-Tip:** 日本の実用新案と異なり、ドイツでは権利行使の強力な手段です。
⊗ 競合模倣時の緊急対応策として常に頭に入れておくべきです。⊗

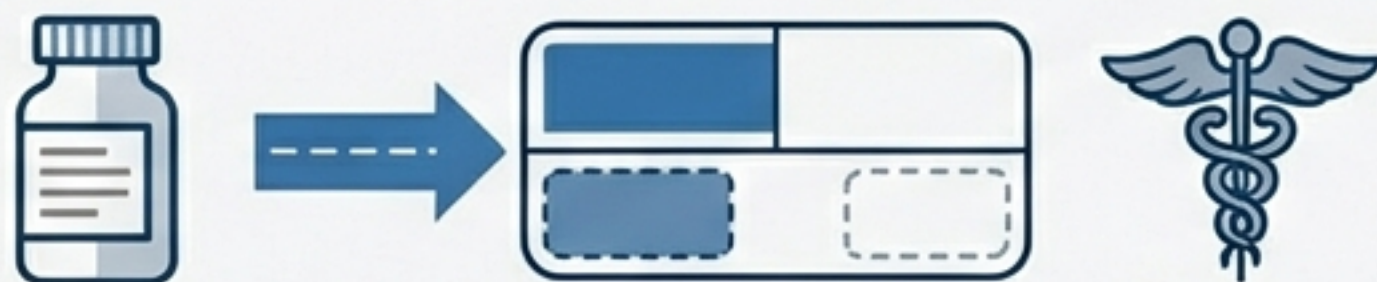
セクター別戦略：医薬品・バイオテクノロジー

ライフサイクル管理とジェネリック防御

Key Issues



SPC (補充的保護証明) : 最大5年の延長。各国の期限管理が必須。



Generics Defense: Skinny Labeling & Second Medical Use (Swiss-type / EPC 2000 claims).

戦略的アプローチ



UPC Risk: ブロックバスター薬は徹底してオプトアウト。中央攻撃での全滅を避ける。



仮処分 (Preliminary Injunctions): ドイツ裁判所は有効性が確実でない限り仮処分に慎重。EPO異議での勝利が前提。

セクター別戦略：自動車・機械・エンジニアリング

サプライチェーンと標準必須特許 (SEP)

Key Issues



SEP (標準必須特許)：通信モジュール搭載による異業種紛争（例: Nokia vs Daimler）。



サプライチェーン責任: 部品メーカー vs 完成車メーカー、誰を訴えるかの駆け引き。

戦略的アプローチ



権利化: ソフトウェア制御の「技術的特徴 (Technical Character)」を明細書で強調し、EPO要件を満たす。



防御: Avanci等のパテントプール活用、クロスライセンス交渉力の強化。

セクター別戦略：ICT・ソフトウェア・AI

特許適格性の壁（Alice vs EPO）を越える



Bad Claim

株価計算アルゴリズム
(Pure Business Method)
→ 非技術的として拒絶。



Good Claim

プロセッサ負荷を低減する画像処理方法
(Technical Contribution)
→ ハードウェアとの協働・技術的效果があれば特許可能。

日本で特許になっても、欧州では「非技術的」とされるリスクあり。出願段階から、処理速度向上・省電力化などの具体的な技術メリットを明細書に書き込むこと。

企業規模別アプローチ：大企業 vs 中小企業（SME）

大企業（Large Enterprise）



広域制圧: UPを活用して事務コスト削減。



二重保護: 重要特許はEPO+ドイツ国内でヘッジ。



組織戦: 欧州現地に知財チームを置き、UPC訴訟即応体制を敷く。

中小企業（SME）



選択と集中: ビジネス拠点（独・仏）に絞り、UPは使わず各国直接出願でコスト抑制。



実用新案: 特許よりも安価で早いドイツ実用新案を活用。



クリアランス重視: 一度の敗訴が命取り。他社特許調査を徹底。

成功へのチェックリスト：欧州特許戦略「7つの大罪」と回避策

- ✓ 翻訳: 日本語明細書を直訳するな。「Added Matter」違反の元凶。現地代理人とリライトせよ。
- ✓ ソフト特許: 技術的効果の記載を忘れるな。
- ✓ コスト: UPは「4か国以上」が分岐点。盲目的にUPを選ばない。
- ✓ UPC対応: オプトアウト検討を放置するな。管理表を作成せよ。
- ✓ 競合監視: 他社特許を無視するな。EPO異議申立を活用して早期に潰せ。
- ✓ 実用新案: ドイツ実用新案を知らないままにするな。緊急時の武器。
- ✓ 更新: 戦略は一度決めて終わりではない。UPC判例を常にアップデートせよ。

“Germany is the gateway to Europe. Master the German system, and you master the continent.”